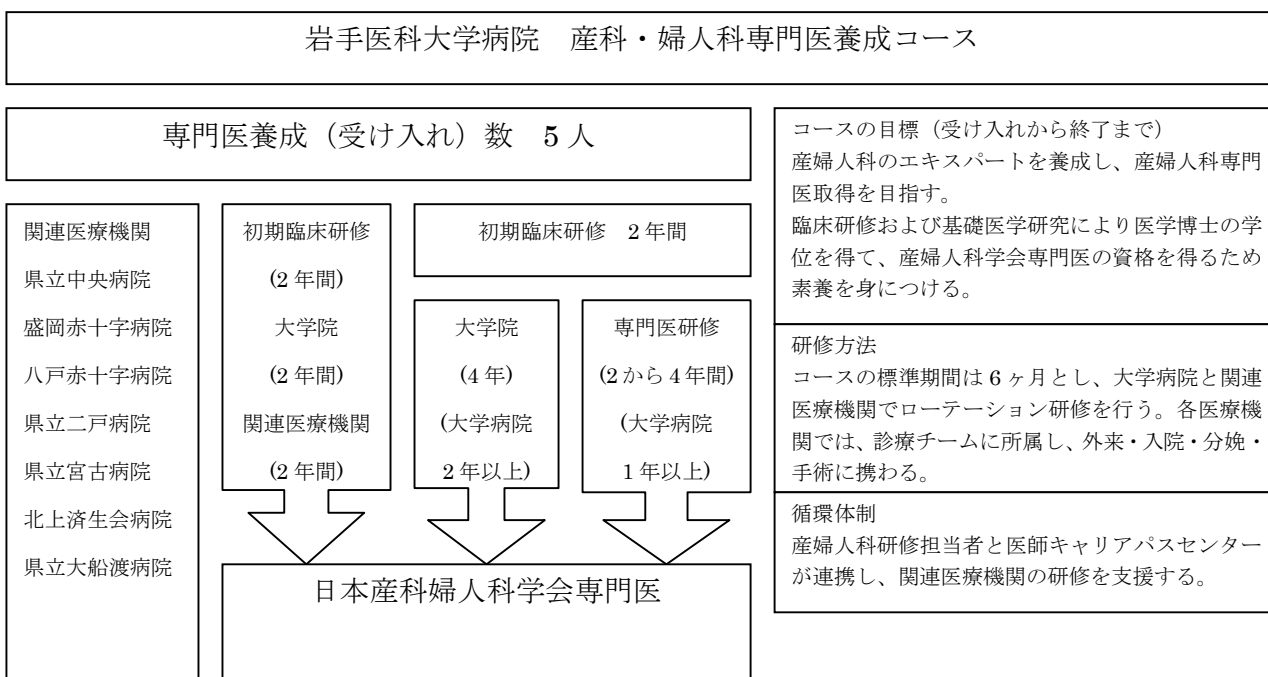


産科・婦人科専門医養成コース

コースの全体像

産婦人科医療は女性の生涯の健全な生活全体に関わる重要な分野である。またその内容も周産期学・女性内分泌学・女性腫瘍学・生殖医学・思春期学と多岐にわたっている。女性にとって欠く事のできない産婦人科という医学専門分野に、積極的に取り組む意欲ある医師を創出することを目的とする。また、実際に地域医療としての産婦人科医療がその様態を変えつつある時期に、社会の要請に答えられる高い志と医療技術を持つ医師を育成する。こうした目的に対応するために岩手医科大学を中心として岩手県内あるいは近隣県にある関連病院が協力し、産婦人科の各分野について、それぞれ独自性を持つ施設が研修・教育・研究の場を提供する。岩手医科大学産婦人科学教室が研修内容を統括する。



コースの概要

大学病院・医療機関	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
岩手医科大学附属病院	産婦人科	女性腫瘍学	5名	サブスペシャリティ取得	2名	1年以上
岩手医科大学附属病院	産婦人科	周産期医学	5名	サブスペシャリティ取得	2名	1年以上
岩手医科大学附属病院	産婦人科	生殖医学	3名	サブスペシャリティ取得	1名	1年以上
県立中央病院	産婦人科	産婦人科学全般	4名	サブスペシャリティ取得	1名	3ヶ月から1年
盛岡赤十字病院	産婦人科	産婦人科学全般	2名	サブスペシャリティ取得	1名	3ヶ月から1年
八戸赤十字病院	産婦人科	産婦人科学全般	2名	サブスペシャリティ取得	1名	3ヶ月から1年
県立二戸病院	産婦人科	産婦人科学全般	3名	サブスペシャリティ取得	1名	3ヶ月から1年
県立宮古病院	産婦人科	産婦人科学全般	2名	サブスペシャリティ取得	1名	3ヶ月から1年
県立大船渡病院	産婦人科	産婦人科学全般	3名	サブスペシャリティ取得	1名	3ヶ月から1年
北上済生会病院	産婦人科	産婦人科学全般	2名	サブスペシャリティ取得	1名	3ヶ月から1年

コースの実績

中心となる岩手医科大学では周産期部門では分娩数 414 例、うち帝王切開 250 例、母体搬送 117 例、早産 178 例と県内の異常分娩の多くを扱っている。女性腫瘍では子宮頸癌 54 例、子宮体癌 32 例、卵巣癌 34 例を初回治療し、国際的な臨床試験の担当施設として多数の治療を行っている。生殖医学では年間 150 例の不妊初診患者があり、50 例に体外受精胚移植を行っている。関連施設を含め、多岐にわたる産婦人科医療を十分に経験できあう。

コースの指導状況

基本的には岩手医科大学産婦人科において臨床に従事する。

ただし、専門研修 3 年目以降は関連施設における臨床研修を組み合わせることが可能である。

関連施設で研修中も、岩手医科大学産婦人科で特定日の臨床研修を行うことができる。また臨床カンファランスに出席する。

専門医の取得等

学会等名	(社)日本産婦人科学会
資格名	(社)日本産婦人科学会専門医

<p>資格要件</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 我が国の医師免許を有する者。 2. 日本産科婦人科学会の会員である者。 3. 平成 16 年及びそれ以降に医師免許を取得した場合は、新医師臨床研修の後、日本産科婦人科学会指定の卒後研修指導施設で、卒後研修目標に沿って通算 3 年以上の産婦人科の臨床研修を終了し、少なくとも同期間この法人の会員であった者。 また、平成 15 年以前に医師免許を取得した場合は、5 年以上の臨床経験を有し、そのうち 3 年以上日本産科婦人科学会指定の卒後研修指導施設で産婦人科の臨床研修を行い、かつ少なくとも同期間この法人の会員であった者
<p>学会の連携等の概要</p>	<p>岩手医科大学・県立中央病院・盛岡赤十字病院・八戸赤十字病院・県立二戸病院・県立宮古病院・県立大船渡病院は(社)日本産科婦人科学会の専門医研修認定施設である。</p>